平成30年度

事　業　計　画　書

公益財団法人立川市地域文化振興財団

目　次

基　本　方　針 …… 1

定款事業別体系図 …… 2

事業区分別事業計画 …… 3

基本方針

昭和 63 年 4 月に設立された財団にとって、平成 30 年度は設立から 30 年の節目の年となります。財団は設立からの 30 年間に市民会館を拠点に様々な舞台芸術を市民に提供してきたことに加えて、市民オペラや演劇祭などの市民参加型事業、活動の場を市内全域に広げてのアウトリーチ事業、一人親家庭の招待など、現在最も重要視されている社会的包摂の考えに基づく事業を展開し、全国に先進事例として取り上げられるまでになりました。

本年度は現在 5 年計画の 4 年目となる中期経営計画に基づき、様々な事業を展開すると共に昨年度創設した寄付金受け入れ制度の周知による財源の確保、また、市民の期待に応える専門職員として一人ひとりのスキルアップを図り、成長期から成熟期へと変革する財団となる足がかりの年といたします。

事業の概要

１ 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業

・財団設立 30 周年記念事業を各ジャンルで実施、記念展示も実施することで、市民へ様々な鑑賞の機会を提供すると同時に財団の PR へもつなげていきます。

・市民オペラでは初めてとなるヨハン・シュトラウスⅡ作曲のオペレッタ「こうもり」を公演するほか、300 組以上が参加するイベントとなった「第 7 回立川いったい音楽まつり」など、市民参加型事業に取り組み、市民の自主的な文化芸術活動を支えます。

・東京都歴史文化財団との連携事業として「ミュージック・ワークショップ」を継続して実施。子どもたちが日本の伝統芸能に触れる機会の提供として「こどものためのお箏教室」を実施します。

・市内小学校全 19 校に音楽鑑賞教室を実施するほか、落語やアート、ダンスのキャラバン事業や吹奏楽クリニック事業も引き続き実施します。

・様々な情報ツールを活用し、財団や市民の文化芸術活動を発信します。

２ 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業

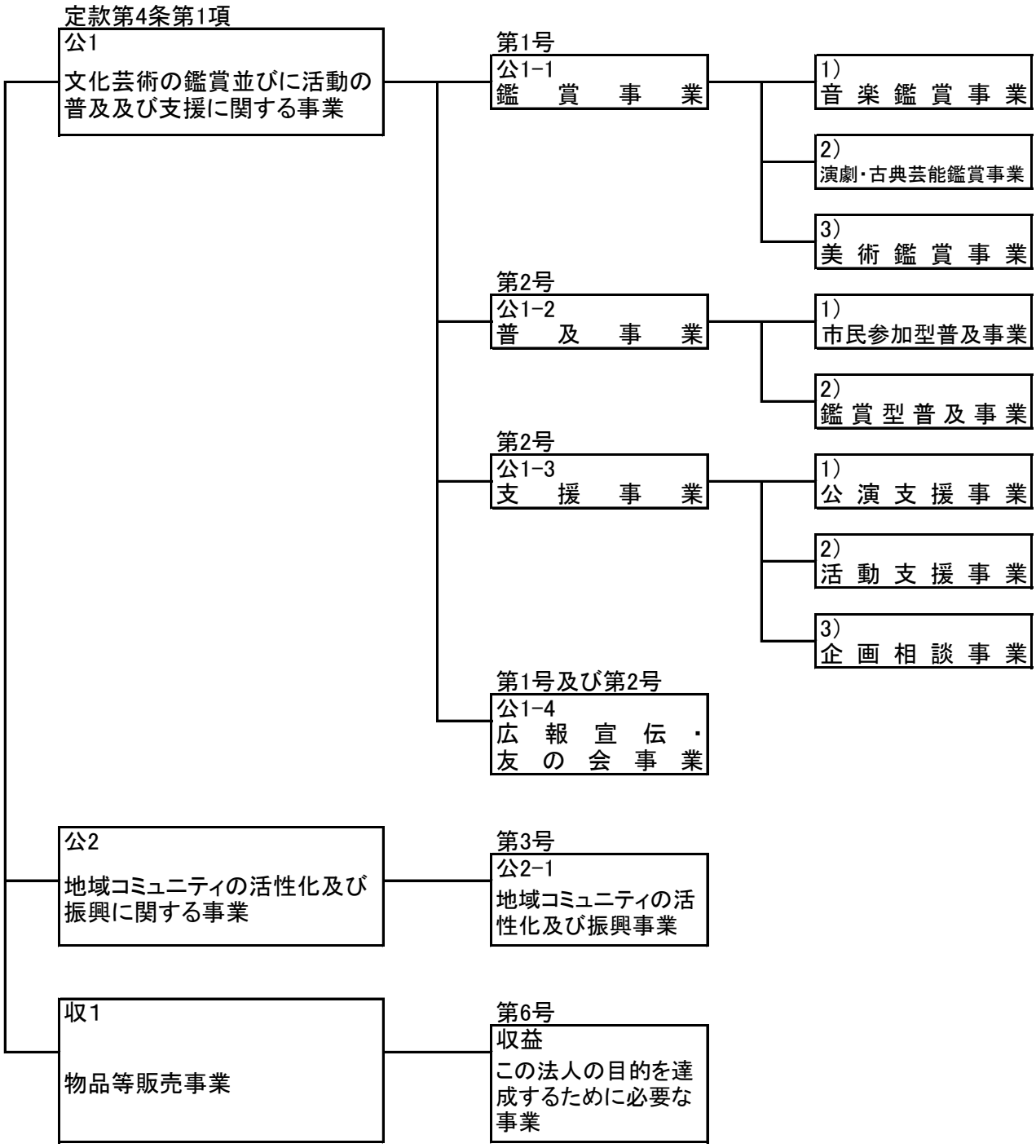
・「第 30 回立川よいと祭り」、「たちかわ楽市 2018」の協働事務局を引き続き担当します。親子で参加できるワークショップでは様々なジャンルに取り組みます。

３ 人材育成の強化と、法令等に基づく的確な法人運営

・立川市、全国公立文化施設協会等の研修へ積極的に参加するほか、職員自身が研修テーマを決め、大学の公開講座などの外部研修に参加する制度を継続実施します。

・コンプライアンスの遵守と個人情報の管理を徹底し、信頼される財団を目指します。

平成30年度　　定 款 事 業 別 体 系 図



事業区分別事業計画

注1）予算額は費用を記載
注2）実施場所の、大・小ホール、展示室、サブホール、市民ロビーは、たましんRISURUホール内施設

1 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業

公1-1 鑑賞事業（定款第4条第1項 第1号）【公益目的事業】

1)音楽鑑賞事業	予算額
	49,266 千円

事業概要	財団設立30周年を迎え、ポピュラー3本とクラシック3本を記念事業とし、多くの方の来場を促すとともに財団のPRにつなげる。 ●クラシックジャンルでは、千住真理子と横山幸雄デュオリサイタルを30周年記念事業とするほか、「楽器の謎！」シリーズの20回記念として大ホールで過去の出演者による室内楽を実施する。そのほか大ホールではフレッシュ名曲コンサートとして小林研一郎指揮「第九」のほか6公演、小ホールでは徳永二男「楽器の謎！」シリーズと、外山啓介ピアノリサイタルを合わせ4公演を予定している。 ●ポピュラージャンルでは、小椋佳、小野リサ、平原綾香の公演を30周年記念事業とするほか、若者向け、親子向けの事業を展開し、幅広い年齢層の市民へ文化への参画を促進していく。

平成30年度の予定

内　容	実　施　日	実施回数	実　施　場　所
クラシックジャンル（主催）			
外山啓介ピアノリサイタル			小ホール
千住真理子＆横山幸雄デュオリサイタル◎			大ホール
航空自衛隊航空中央音楽隊ファミリーコンサート			大ホール
東京シティフィル「ドラゴンクエスト」※			大ホール
フレッシュ名曲コンサート　ベートーヴェン「第九」 小林研一郎/日本フィル			大ホール
及川浩治トーク＆ピアノリサイタル◎			大ホール
子どもオペラ※			大ホール
硬派弦楽アンサンブル　石田組※			大ホール
国立音楽大学コンサート			大ホール
徳永二男 「楽器の謎！」シリーズ（全4回）◎	通年	20回	小ホール＆大ホール
ポピュラージャンル（主催）			
やぎりんコンサート※			アイムホール
小椋佳◎			大ホール
小野リサ◎			大ホール
平原綾香◎			大ホール
トクマルシューゴ			大ホール
高木正勝			大ホール
ミッフィーミュージカル			大ホール
※は共同主催事業　◎は財団30周年記念事業			

2)演劇･古典芸能鑑賞事業	予 算 額 13,009 千円
事業概要	演劇や伝統芸能などを幅広い年代で多くの方が鑑賞できる事業を実施する。 ●毎年好評を得ている劇団東少の子ども向けのミュージカルや謎解きバックステージツアーを開催する。 ●アイムホールでの若手落語会（3回シリーズ）の中で子ども向けの寄席を2回実施する。 ●毎年恒例の松竹大歌舞伎や寄席などの古典芸能公演を実施する。

平成30年度の予定

内　容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
演劇ミュージカル等（主催）			
劇団東少「人魚姫」※			大ホール
劇場体験型「謎解きバックステージツアー」※			大ホール
古典芸能等（主催）			
新春たちかわ寄席※	通年	13回	大ホール
笑ホール寄席（4回）			小ホール
松竹大歌舞伎(2回公演)			大ホール
松竹大歌舞伎プレセミナー			小ホール
アイム落語研究会（3回）			アイムホール
※は共同主催事業			

3)美術鑑賞事業	予 算 額 1,348 千円
事業概要	音楽や舞台芸術と同じく、優れた美術作品を鑑賞することは市民の文化芸術活動を促進する重要な要素と捉え、その機会づくりの事業を実施する。

平成30年度の予定

内　容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
美術館鑑賞事業	未定	1回	未定
小学生ファーレアート鑑賞事業	通年	19回	ファーレ立川

公1-2 普及事業 （定款第4条第1項 第2号)【公益目的事業】

1)市民参加型普及事業	予 算 額
	3,052 千円

事業概要	展示及び公演等に市民が参加できる事業として、絵画・演劇・オペラ・吹奏楽のジャンルで事業を実施する。 ●「たちかわアートギャラリー展」はたましんRISURUホール展示室で開催、第25回記念として審査員の先生方の絵画展を同時開催する。入賞者については市役所で入賞者展を行う。また、関連企画として立川女子高等学校美術部展、審査員指導のスケッチ会、子どもにも絵画に興味をもってもらえるようなワークショップも開催する。 ●「真夏の夜の演劇祭」は、2劇団が参加予定。実行委員会を中心に、イベント等を企画実施していく。 ●「立川市民オペラ」としては初上演となるオペレッタ「こうもり」を実施する。 ●吹奏楽振興については、航空中央音楽隊員を講師とした「中学生吹奏楽クリニック」を隊員によるコンサートを交えて開催する予定。小学生を対象とした吹奏楽クリニックは国立音楽大学の教員や学生を講師として開催する。 ●日本三曲協会と協力しながら「こどものためのお箏教室」を月3回程度水曜日に実施する。

平成30年度の予定

内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第25回たちかわアートギャラリー展	5月19～27日	1回	展示室
同入賞者展	6月上旬	1回	市役所
第27回たちかわ真夏の夜の演劇祭	8月4～26日	2～4公演	小ホール
立川市民オペラ 「こうもり」	3月16～17日	2回	大ホール
中学生吹奏楽クリニック	未定	1回	市内中学校
小学生吹奏楽クリニック	通年	9回	市内小学校
こどものためのお箏教室	月3回水曜日	36回	サブホール 等

2)鑑賞型普及事業	予 算 額
	6,981 千円

事業概要	子どもたちに広く平等に芸術に触れる機会を提供するため、市内小学校への訪問事業を充実させる。また、遠出しづらい方や幼い子ども達に、地域学習館や学習等供用施設、市内福祉施設などでコンサートなどを実施することにより文化芸術を身近に感じていただける機会を増やす。 ●子どもたちの心豊かな情操を育む「小学校演劇体験事業」は、教育委員会と連携し、引き続き親子で楽しめる演劇鑑賞の機会を提供する。 ●「水曜コンサート」、「市役所コンサート」はアーティストの発表の場としても開催し、継続して市民の鑑賞機会の提供に取り組む。 ●「どこでもステージ」は、市内各地で文化芸術に触れる機会を提供する。 ●学校訪問事業は、音楽、邦楽、落語、アート、ダンスを実施する。音楽、邦楽においては、小学校音楽鑑賞事業を教育委員会と連携し開催、市立小学校全19校に音楽家を派遣し実施する。 ●国立音楽大学アイムコンサートは立川市と国立音大との連携協定事業の一つとして実施。立川駅近に立地するアイムホールの文化的活用や周知を図ると同時に学生の活動支援のために実施する。

平成30年度の予定

内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
小学校演劇体験事業	10月14日	1回	大ホール
水曜コンサート	月1回水曜日	12回	市民ロビー
市役所コンサート	月1回	12回	市役所多目的プラザ
どこでもステージ	通年	未定	市内学習館、福祉施設等
学校訪問事業「音楽・邦楽・落語・アート・ダンスキャラバン」	通年	40回程度	市内小学校
国立音楽大学アイムコンサート	通年	5回程度	アイムホール

公1-3 支援事業 （定款第4条第1項 第2号)【公益目的事業】

1)公演支援事業	予 算 額
	2,160 千円

事業概要	市民や若手アーティストの多様な文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術の育つ環境づくりを図る。 ●「立川いったい音楽まつり」は市内各所で開催、市民と協働し、実行委員会形式で運営する。 ●「市民団体共催・後援」は、公演やイベントの開催の広報活動などで支援する。 ●「アーティスト支援」は、多摩フレッシュ音楽コンサート入賞者のリサイタルや、国立音楽大学の学生によるアイムコンサートの開催等を支援する。また、立川及び近隣のクラフト作家を紹介するアートマーケットをたましんRISURUホールで開催し、一層の賑わい作りに貢献する。 ●東京多摩公立文化施設協議会の主催で実施する「多摩フレッシュ音楽コンサート」の事務局を担う。

平成30年度の予定

内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第7回立川いったい音楽まつり	5月19～20日	1回	市内各所
市民団体共催・後援	通年	ー	大・小ホールほか
アーティスト支援事業	未定	未定	未定
多摩フレッシュ音楽コンサート（声楽・ピアノ 2部門）	6月27日、7月2日	2回	大ホール

2)活動支援事業	予 算 額
	ー 千円

事業概要	市民や立川市を構成団体とする団体が行う多様な文化芸術活動を支援する。 ●立川文化芸術のまちづくり協議会が行う事業を通じて、不特定多数の市民の文化芸術活動を支援する。 ●立川の文化的資産であるファーレ立川アートの、維持管理を行うファーレ立川アート管理委員会の活動を支援していく。 ●立川市内での質の高い演劇作品・演劇空間の創造と発信、人材の育成を目指し結成された立川シアタープロジェクトの活動を支援していく。

平成30年度の予定

内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
立川文化芸術のまちづくり協議会	通年	ー	
ファーレ立川アート管理委員会	通年	ー	
立川シアタープロジェクト実行委員会	通年	ー	

3)企画相談事業	予 算 額
	5,780 千円

事業概要	立川市と連携し、事業企画提案や事業を受託し実施する。 ●「たちかわ交流大使」であるジャズピアニスト・山下洋輔氏の公演を立川市から受託し、立川いったい音楽まつりの関連企画として実施する。 ●「大町市姉妹市交流事業」では、大町市を訪問する事業を立川市と協力し事業提案していく。 ●「高齢者のつどい」は立川市主催事業のアトラクション部門について、参加者が楽しめる企画を提案、実施する。

平成30年度の予定

内　容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
山下洋輔コンサート	5月13日	1回	大ホール
大町市姉妹市交流事業	8月	1回	長野県大町市
高齢者のつどい	10月	3回	大ホール

公1-4 （定款第4条第1項　第1･2号）【公益目的事業】

広報宣伝･友の会事業	予 算 額
	20,998 千円

事業概要	広報宣伝や友の会制度により財団事業の周知を充実させ、来場者の増加を図る。 ●情報紙「ムーサ」は、より読みやすい紙面構成に努めると同時に、効果的に配布する。 ●「ホームページ」は、イベントカレンダーなどの機能を充実させることで利便性を高め、トピックスの即時公開に努める。また、動画やフェイスブックについてもタイムリーな情報発信ツールとして積極的に活用していく。 ●「ムーサ友の会」については、インターネットによる入会及びチケット購入の利便性をPRし、会員及び来場者の増加に努める。 ●「メールマガジン」は、正確な情報配信に努め、登録者情報をしっかりと保持する。 ●「財団PR」は、主催事業等で機会ごとにニュースリリースや有料広告を活用して積極的にPRを図る。 ●「市内広報掲示板」は、市民への周知方法の一つであり、適正な管理運営を行う。

平成30年度の予定

内　容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
情報紙「ムーサ」	隔月(奇数月)	6回	市内及び周辺17市町
財団ホームページ	通年	―	―
ムーサ友の会	通年	―	―
メールマガジン	通年	―	―
財団PR	通年	―	―
市内広報掲示板	通年	―	―

2 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業
公2-1 （定款第4条第1項　第3号）【公益目的事業】

地域コミュニティの活性化及び振興事業	予　算　額 485 千円
事業概要	イベントや表彰、姉妹市との交流などを通して、人と人を結ぶコミュニティ事業に積極的に取り組む。 ●「立川よいと祭り」は、30回記念事業としてさらに充実した地域文化の進行と継承を行い、光と音のシンフォニーをテーマにサンサンロードで開催するイベントとして協働事務局を担う。 ●「たちかわ楽市」は、観光協会、商工会議所などと連携した協働事務局として実施する。 ●「子ども凧あげ大会」は子ども会連合会との連携事業として、子どもたちが日本の正月の風物詩に触れると共にコミュニティ形成の場として実施する。 ●「コミュニティ奨励賞」は、文化芸術での顕著な成績や地域貢献活動に対し、その個人や団体を表彰し市民の関心を深めるとともに、地域活動の活性化を図る。 ●「キッズワークショップ」は、親と子どもたちの交流と文化芸術への関心を深めるため、ステージ事業と連携した内容も考慮して開催する。

平成30年度の予定

内　容	実　施　日	実施回数	実　施　場　所
立川よいと祭り	8月4日	1回	サンサンロード
たちかわ楽市	11月上旬	1回	国営昭和記念公園
子ども凧あげ大会	1月上旬	1回	多摩川緑地市民運動場
コミュニティ奨励賞(表彰式)	3月上旬	1回	会議室
キッズワークショップ	通年	7回程度	サブホール　ほか

3　物品等販売事業
（定款第4条第１項　第6号）【収益事業】

この法人の目的を達成するために必要な事業	予　算　額 － 千円
事業概要	出演者等が公演開催時に、ホールエントランス等でCD等の公演関連商品を販売した際、物品販売手数料を徴収する。 その徴収した手数料や収益分を、公益目的事業に充てる。

平成30年度の予定

内　容	実施時期		実　施　場　所
CD等物品販売	通年		大・小ホールロビー アイムホールほか